

## アメリカの日本研究の第一世代

### ジョージ・アキタ（ハワイ大学名誉教授）

これから述べることの大部分は、アメリカにおける日本研究という課題を詳しく追求するにあたり、文献目録の7の「アメリカおよびカナダにおける日本研究——日本専門家名簿(Japanese studies in the United States and Canada: Directory of Japan specialists)」を基にしました。

これは日本専門家(Japan specialists)と思われた4009人のリストが作成され、彼らにアンケートが発送され、回答のなかった専門家は名簿に載せられませんでした。従って、これを基にした議論は完全とはいえません。例えば、Edwin Seidensticker（文学）、Donald Hellman、Michael Blaker（政治学）、John Dower（現代史）、Susan Hanley（経済史）、Conrad Totman（徳川史）などは名簿にはないが重要な日本専門家です。しかしながら出版された名簿には1224人の名前が載っています。そしてこれには、日本語・日本研究の専門分野における学位・日本における研究経験・1988年までの経歴・出版に関する質問に対する回答が付いています。この名簿の編集にあたった人々は、この1224人が現在アメリカで活躍している日本専門家の3分の2を代表していると考えています。「アメリカおよびカナダにおける日本研究機関便覧」(Directory of Japanese studies institution in the United States and Canada)ですが、ここでもアメリカだけについて述べれば、現在109の機関に日本研究のプログラムがあります。これに加えて186の大学や研究機関がその教授陣に日本専門家を有しています（比較のために、カナダの例をあげると、10の研究機関に日本研究プログラムがあり、そのほかに日本専門家を教

授陣に有しているのは21機関です）。この1冊にはアメリカにおける90から95パーセントの機関が含まれていると編集者は考えています。この2冊から現在アメリカにおける日本研究のかなり正確な図を描くことが出来ます。言うまでもないことですが、私はこの2冊だけに頼ってはいません。なお、アメリカにおける日本研究の発展をより良く理解するためには、10年ごとの変化に注目していただきたい。

さて、日本研究プログラムは現在アメリカ50州のうちの33の州にあります。そして、この30年間に日本研究プログラムは地理的には西へと移動しています。1960年には10の大センターのうち四つ（ハーバード・エール・コロンビア・プリンストン）が東部・北東部にありました。残りの二つが、中西部のミシガン・シカゴで、四つが西部のワシントン・スタンフォード・カリフォルニア大バークレー校・ハワイです。今日、10人あるいは10人以上の教授のいる研究機関がアメリカには35あります。1960年には教授数10人というのが主要機関の判断基準でしたが、現在の基準を用いると、35機関のうち六つが北東部、九つが中西部、13がハワイを含む太平洋岸にあります。大西洋地域中部には10人以上の教授陣を持つ機関が四つ、南西部とロッキー山脈地域には三つありますが、南部にはゼロです。特に最も多い専門家を有するのはハワイ大学で67人です。次がミシガン大学で46人、南カリフォルニア大35人となっています。特に注目していただきたいのは、南カリフォルニア大は1960年の10大校に入っていないことです。1960年のリストには無いもう一つの大学、オハイオ州立大学は今日では、32人の専門家を有し、次がコロンビアの31人、スタンフォードの29人となっています。シカゴ大学は24人、1960年のリストに無い大学として、ユタ州のビルガム・ヤング大の24人があります。ウィスコンシン大学は、Sidney Brownが木戸孝允の博士論文を

書いていた1950年頃に日本専門家がいなかったため、近代中国史専門家をアドバイザー（主任教授）にしなければならなかったのですが、今は24人の専門家があります。アメリカにおいて日本研究の草分けの役目を果たしたカリフォルニア大バークレー校は23人です。

日本研究の博士課程の学生の大半は、主要大学で養成されました。ハーバードは「名簿」にある1210人の博士のうち133人もの多数を出しています。七つの大学、ハーバード・ミシガン・コロンビア・シカゴ・バークレー・スタンフォード・エールが1960年以前に出た165人の博士号取得者の65パーセントを占めています。これと同じ大学が1980年代に出た294人の博士号取得者のほとんど半分を占めています。全体として、この七つの大学が日本研究の博士号の46.9パーセントを養成したことになります。しかしながら、1960年以降は、次の大学もそれぞれ20あるいはそれ以上の博士号を出しました。ウィスコンシン・ワシントン・ハワイ・コーネル・プリンストンです。そして日本専門家名簿にある441人の博士課程の学生のうち、一番多いのがハワイの50人、次がミシガン45人、コロンビア40人となっています。1960年以前にはハワイには博士課程がなかったことに注目しなければなりません。

しかしながら、現在、アメリカの日本専門家のおよそ4分の1は大学と関係がないことにも注目しなければなりません。これはアメリカにおける日本研究の重要な発展傾向の一つであります。20年前は日本語を習って日本を研究しようという者は、第一に学者になるためにそうしたのですが、もし大学のポストがなければ、政府の仕事につきました。しかし、今日、日本は経済強国になり、日米関係は前アメリカ大使マンスフィールドの言うように、「世界における最も重要な二国関係」にあります。したがって、多くの人がビジネスと日本研究を結びつけて考えます。

「名簿」編集のために発送したアンケートに、日本を専門あるいは、日本に強い関心のある者としてリストに載せてもらうためにわざわざ回答を寄せた弁護士の数が大変多いのに驚かされます。弁護士が3ページに及ぶのをご覧下さい〔資料1〕。（私がこの二つの名簿を受け取ったのは日本へ来る2、3週間前であり、飛行機で持って来るには重すぎるので、発表のためにリストだけを大急ぎで用意しなければならなかったことを認めなければなりません。）この弁護士のリストは「名簿」の日本専門家全体の僅か4.3パーセントでしかないと編集者は指摘していますが、30年以上この道にあってその発展を見てきた私は、その数の多さに驚かない訳にはいきません。

もう一つの重大な発展は、この分野における女性の数です。これは1960年より後の傾向と言えるかも知れません。1940年に出版された前田多門の論文には、2人の女性の名があげられています。寿恵村の研究をする夫について来たJohn Embree夫人とMrs. Sheldon CovellとFlorence Walneであります。前田多門があげたアメリカにおける日本専門家の数の少なさを考えると、これは「数多い」かも知れません。しかし、もし数の影響について語るなら戦後から始めなければなりません。戦後の最初の女性学者の中には、Evelyn Colbertがいます。1918年生まれで、日本の左翼政治について書き、Eleanor Hadley（1916年生まれ）は、財閥解体について書きました。そしてもちろん『菊と刀』を書いたRuth Benedictがいます。この三つの作品はすべてアメリカ政府の仕事をしている間に行った研究に基づいたものです。3人とも日本語を話したり書いたりできませんでした。しかし次の世代に1926年生まれのBarbara Teters、1925年生まれのJoyce Lebra、Hazel Jonesがいます。3人とも引退したか、引退間近ですが、いずれも日本語ができます。ということは



彼女たちは大学で訓練を受けたのです。私が用意した3ページのリストをご覧になると、現在活躍している女性は1930年代後半から1940年代初めの生まれであることがお判りになるでしょう〔資料2〕。ほとんど全員が日本語ができると思います。女性がだんだん多くなる傾向は続くでしょう。というのは、「名簿」にある専門家の4分の3が男性であるのに対して、現在の博士課程の大学院生のおよそ半数が女性だからです。（ここでも私のリストは完全なものではありません。文学・日本語・言語学・図書館学は含まれていません。もし含めていればもっと多くなったでしょう。）

もう一つ重大な特徴は、日本生まれの専門家の数です〔資料3〕。ここでもまた日本語を教えている人々と、図書館関係者、および文学は私のリストには入っていません。前田の論文をご覧になると、日本生まれの学者がアメリカにおける初期の日本研究に重要な役割を果たしたことがお分かりでしょう。これは、前田が指摘するように「昔のアメリカの学者のほとんどが日本語を読めなかった」のですが、これには著名な政治学者Kenneth Colegrove、Harold Quigleyが含まれます。しかし彼らは日本語が読めないにもかかわらず、優れた研究をしたのです。現在、日本生まれの学者はアメリカのいたるところにおり、その数は驚くほどです。日本生まれの学者のリストをご覧になるとほとんどが1930年代生まれであることがお判りでしょう。これは彼らが1950年代から1960年代にアメリカに来たことを意味すると思います。彼らのほとんどはよくやりました。学科長・学部長・研究所長・教授になっていることにご注目下さい。これは資格と能力があれば、日本人でない同僚の推薦によって普通に昇進することができることを示すものであると思うのです。ご覧のとおり、1930年代生まれは大抵は教授で、1940年代生まれは助教授になっ

ています。私がこの点を強調したのは、数年前、あるアジア系の学者たちがアジア系学者に対する偏見と戦おうとした事があるからです。しかし、このリストを見るとそれほど差別されたとは認められません。また、東洋人の日本研究者の名前をピック・アップしていた時、もう二つのポイントに気が付きました。第一は、かなり多数の日本生まれの学者が経済学者であることです。第二に、日本専門家としてリストされている韓国、朝鮮生まれの学者に政治学者が多いのです。ただし、その理由は判りません。

先に述べた事のすべてがアメリカにおける日本研究の重要な点に関係があります。というのは、日本研究は日が浅いのです。前田多門が太平洋戦争前に、日本研究ではドイツとイギリスがアメリカに先行していると言ったのです。そしてこの分野がいかに日が浅いかは、アメリカにおける先駆者がまだ存命中であり、我々の中にはこの先駆者の下で学んだ者が大勢いることから分かります。例えば、私は前田が「日本研究に新しい夜明けをもたらす若く頭脳明晰な学者」と述べた2人、Serge ElisseffとEdwin O. Reischauerの下で学びました。有名なエリセフ家のデリカテッセンはまだモスクワにあります。そして彼の息子はフランスで日本専門家になったと聞いています。私はまた、前田がリスト・アップしたCharles B. Fahs、Chitoshi Yanaga、Ryusaku Tsunodaのような学者にも会っていますが、今はみな故人です。そして、Hugh Bortonにも何回か会いましたが、彼はアメリカには日本研究の博士課程がなかったので博士号を取るためにオランダのライデンに行かなければなりませんでした。彼はJohannes Rahderの下で学びました。Rahderは1898年生まれで、しばらくハワイ大学で教えていましたが、まだアメリカで健在です。未亡人のジョン・エンブリー夫人は再婚し、ホノルル郊外に住んで

活躍しています。ジョン・エンブリーと滞在した寿恵村で取ったノート  
を基にした本『寿恵村の女たち』を1982年に出版し、高い評価を受けま  
した。この分野の若さを示すもう一つは、前田多門は故前田陽一の尊父  
であり、日米関係の権威であるイリエ・アキラ氏の夫人は前田陽一さん  
の娘さんです。

アメリカの日本研究が始まったばかりの頃、悲劇に見舞われました。  
優秀な先駆者が3人、悲劇的な死をとげたのです。最初はロバート・ラ  
イシャワーで、彼はEdwinの兄にあたりますが、勉強旅行で上海にいま  
した。1937年8月14日、中国機が日本の軍艦を攻撃し、打ち損ねた爆弾  
がライシャワーたちの泊まっていたホテルの近くに落ち、窓ガラスが粉々  
になり、丁度フロントデスクにいたライシャワーは片方の踵をそぎ落と  
され、出血多量で死亡したのです。38歳の若さでした。2人目はジョン・  
エンブリーで、1950年のクリスマスイヴ、当時エール大学で教鞭をとっ  
ていたエンブリーは娘とニュー・ヘヴンへクリスマスの買い物に出掛け、  
二人とも酔っ払い運転の車の犠牲になったのです。3人目がE. H. Norman  
です。彼はその著書『日本近代国家の成立』により、日本研究の第一人  
者であると未だに大勢の人々が考えていますが、1957年4月4日自殺を遂  
げました。ノーマンは恐らく、日本研究の初期における最も複雑で悲劇  
的な人物でしょう。あの本を書いたとき、彼はたぶん共産党員でした。  
そして『成立』を書くために引用した日本語の第二次資料さえ当時読め  
なかったのです（このことはノーマンの信奉者で、彼があげている日本  
語の本を調べたRoger Bowenが認めています）。更にノーマンはその過  
去についてカナダ政府機関に問われたとき、1950年と52年、二度にわたっ  
て嘘をついています。彼は本当に複雑で、悲劇的な人物でした。

アメリカにおける日本研究の日が浅いことは、統計的に示すことがで

きます。生年月日が分かっている1145人の専門家のうち平均年齢は47歳です。65歳以上は10%に過ぎません（言っておきますが、私は63歳になったばかりです）。「名簿」のうちほぼ3分の1が35から44歳で、4分の1が45から54歳、5分の1が55から64歳です。「名簿」にある9%が35歳以下です。

統計では、1960年代と1970年代の発展が最大であったことを教えています。これは、アメリカ政府からと民間団体からの基金があったことが大きな原因でした。例えば、「名簿」のうちの1420人が全米で競争の激しい研究奨励金、地域あるいは大学レベルの賞与金を受けました。アメリカの奨励金の55%が政府筋から出たものでしたが、この時代、フォードのような民間団体が日本研究に大きな役割を果たしたことに注目して下さい。

1960年以前、つまり1950年代に日本研究で博士号を受けた者の数は7人に1人以下という少なさでしたが、これらの男性がこの分野を作り上げたといえます（男性という言葉をやと使うのは、女性が含まれていないからです）。彼らのほとんどが、アメリカ陸軍か海軍の語学学校へ行きました（しかし、John Hall、Edwin O. Reischauer、Hugh Bortonは行ってはいません。これは彼らの年齢に関係があったと思います）。行った人たちは優秀でした。彼らの知能指数は平均よりずっと高いことを証明し、生まれつきの語学能力があるか、あるいはすでに語学の訓練を受けていなければなりませんでした。例えばMarius Jansenはオランダ語が出来ました。しかし、これらの語学学校へ行った人たちの大半が日本専門家にならなかった事に注目しなくてはなりません。Larry Olsonは、ボールダーコロラド海軍語学学校の同窓会に出席したら、150人集まった、たった「一握り」しか日本専門家はいなかったと言っています。

1960年代にはこの1950年代の「一握り」が倍になって、324人が博士号を得ました。博士号は1970年代が一番多く、405人でした。1980年代には441人の博士課程の学生がおり、このうち何人が博士号を取るかわかりませんが、数は安定していると言えます。しかし、日本関係分野で働くために、法律の学位、あるいはビジネス・スクールの大学院の学位(M.B.A.)を取る人も考慮にいれると日本専門家の数はもっと多くなるかも知れません。

次に、日本研究の学者たちの専門について言えば、一番多いのが歴史で15.8%、次いで文学の9.4%となります。宗教と哲学が6.2%、美術および美術史ではそれぞれ5.7%です。社会科学では、政治専門が8.2%、続いて経済が6.6%です。経済学者の数が少ないことにより、日本生まれの経済学者に応援を求めなければならないのかも知れません。人類学は6.3%です。社会学と言語学はずっと離れて3.7%となっています。

統計はほんの骨格を示すだけです。ですから、私が一番よく知っている二つの分野、歴史学と政治学の「系図」を作ってみました。歴史では、はじめは二つの大学、ハーバードとコロンビアがその専門家を養成しました。私はハーバードに限定して話したいと思います。ただし、この「系図」について言うておくべきことは、第一に「系図」にある1人1人に手紙を書いたり彼らと直接に話す機会がなかったので、誤りがある危険が大きいということです。ですから、私の作った「系図」は完全なものではなく、かなりの誤りを含んでいるかも知れないことを承知していただきます。第二に、「系図」は統計よりましですが、それでもいかに怪しいものか示すことができます。ライシャワーは1939年にハーバードから博士号をもらっています。ノーマンは1940年です。彼は、博士号を取るのに論文は提出しませんでした。後に『日本近代国家の成立』となっ

た校正済み原稿を提出したのです。ハーバードではこれが認められていました。しかし、この「系図」からはノーマンがハーバードからマスターを得た後に、コロンビア大学に博士課程の学生として登録し、彼の『日本近代国家の成立』の原稿は第一次資料を使わなかったという理由でヒュー・ボートンが通さなかったということは分かりません。もう一つ、いかに「系図」だけでは間違いやすいかという例として、戦争直後にハーバードで歴史の学位を得たということだけでライシャワーの学生（教え子）と結論づけることです。1972年に出版されたライシャワーの論文集の寄稿者には、ホール、スミス・ナジタ、トットマン・クレイグ、サカイ・ジャンセン、イリエ・ドゥーズ、ウィルソン・アキタが歴史学者として載っています。このグループの中で、ホール・クレイグ・アキタがライシャワーの直系で、歴史および東洋語(History and Far Eastern Languages)の学位を得ています。スミス・サカイ・ジャンセンは歴史学だけの学位です。スミスについては確かではありませんが、サカイとジャンセンは、ライシャワーよりジョン・フェアバンクの方により多く指導を受け、彼らの博士論文は中国に関連したものです。イリエはフェアバンクに多く指導を受け、ライシャワーにはそれほど指導を受けなかったでしょう。ナジタ・トットマン・ウィルソン・ドゥーズはライシャワーの下で始めたのですが、ライシャワーが大使となつてからは、クレイグの下で勉強を終えました。オールソンの主任教授は確かにライシャワーでしたが、フェアバンクの方に近いと感じていると私に話しました〔資料4〕。その理由は、当時ライシャワー夫人は長い間病床にあり、ライシャワーは育ち盛りの子供の面倒を見るために大学から急いで家へ帰らなくてはならなかったからです。日本へ研究にさえ来られなかったのです。ですから、1955年最初の夫人の死後に日本へ来たのは、戦争直後の短期

間の滞在を除けば戦前以来ということになります。このように日本との接触がなかったので、ライシャワーは私に日本の教授への紹介状を1通も書いてくれなかったという訳です。結果的には、これが幸いでした。私は東京で1人で研究したり書いたりしなくてはならなかったもので、戦後の日本の人文科学に色濃いマルキストの影響を避けることが出来たからです。

政治学の系図によると、三つの重要なセンターに、コロンビア・ミシガン・バークレーがあります〔資料5〕。幸い、私は今月初め東京に滞在していたChalmers Johnsonにバークレーの「系図」をチェックしてもらいました。こうしたことは必要なのです。文学や人類学の系図、またその他の分野の系図を作っても面白いでしょう。

さて、この講演を、一つの現象と二つの傾向を論じて終えることにしたいと思います。現象というのは、私が「将軍現象」と呼ぶものです。1980年の秋、NBCテレビがJames Clavellの小説、『将軍』をもとにしたテレビドラマを放映しました。1億2500万人の人々がこの5回の連続ドラマを観たといわれます。この後でペーパーバックで出た本が1か月に300万冊も売れたのですから、テレビの影響力はたいしたものですね。ある著名なテレビ評論家が、二つのことを指摘しています。その一つは、少なくとも彼には、『将軍』は、「日本の文化・ことば・伝統に関しては、アメリカ大衆の東洋に対する偏見の最後の名残を取り去ったように見える」というのです。もう一つは、「アメリカの大学にアジア研究と日本語課程についての問い合わせが驚くほど増えた」ことです。この波によってハーバードの博士で現在コロンビアにいるHenry B. Smithは素早く、「将軍から学ぶ——日本歴史と西洋のファンタジー」を1980年に編集しました。『将軍』が影響を及ぼしたことは確かですが、どれくらいの影



響なのか言うのは難しい事です。しかし、この学期だけでも、私の大学の日本史の大学院に応募した学生の1人がはっきりと、テレビの『將軍』に影響を受けたと申請書に書いています。また今年の6月ハワイ大学でマスターを取り、博士課程に進む学生はあのテレビ・シリーズで日本研究に興味を感じるようになったと言っています。ですから、20歳代で同じように影響を受けた人たちが大勢いる可能性が大いにあります。この現象の追跡調査をして行くのは興味深いでしょう。

ところで第一の傾向というのは、最近博士号を取った人々や、彼らの教授たちの中に「新しい歴史（ニュー・ヒストリー）」に関心がある人たちがいることです。この傾向はシカゴ大学の日本専門家とその学生たちに最もよく見られるのですが、彼らに限ったことではありません。このニュー・ヒストリーが顕示する事の一つに、政治エリートとそれを研究する歴史家に対する攻撃と、歴史を「下から」眺めようとする姿勢、つまり、抑圧された人々・貧民・棄民・小作人・都市居住者・無頼の徒・政治的過激論者の立場から歴史を眺めようとする姿勢があります。日本研究の分野では、こうした関心は徳川および明治時代の小作制度に関する一連の本の出版をもたらしました。その中には、Herbert Bix（博士号、ハーバード、マルキスト）のPeasant Protests in Japan, 1590-1884とStephen Vlastos（博士号、カリフォルニア大バークレー）のPeasant Protests and Uprisings in Tokugawa Japan、Anne Walthall（博士号、シカゴ大）のSocial Protest and Popular Culture in 18th Century Japan、Roger Bowen（博士号、ブリティッシュコロンビア）のDemocracy and Rebellion in Meiji Japanがあります。Bowenは最近、E. H. ノーマンを肯定する本も2冊出しています。暗黒の歴史を強調するのは何も年齢のなせる業ではありません。このジャンルで一番多作のMikiso Haneは私

より年上です。彼は1982年に *Peasants, Rebels and Outcasts*、そして1988年に *Reflections on the Way to the Gallows: Rebel Women in Prewar Japan* を出しています。しかし、小作人について書いたり、下からの歴史を書く人々がすべて「ニュー・ヒストリー」の観点からそうしたという意味ではありません。Neil Waters (St. Lawrence Univ.) は川崎地域についての本を出しましたが、その主旨は「川崎地方には何も起こらなかった」というものです。またI.C.U.のWilliam Steeleは明治時代の茨城県について同様の議論を述べた論文を発表しています。「何も起こらなかった」と述べて、この2人の学者が強調しているのは、「紛争」「弾圧」が地方史を見る唯一の方法ではないということです。

この主題に関するもう一つの重要な研究は、William Kellyによるものです。彼は *Deference and Defiance in 19th Century Japan* を1985年に書きましたが、その中で支配者と被支配者との関係と、両者の間の紛争解決は、支配者が一方的に力を行使するという一方通行ではないことを指摘しています。

自作農・小作農に関するもっと肯定的な見方、すなわち彼らが積極的に自己改善を試み、それに成功したという見方がRichard Smethurstの *Agricultural Development in Pre-War Japan, 1870-1940* (1986年出版) とPenelope Francksの *Technology and Agricultural Development in Pre-War Japan* (1984年出版) に見られます。前に述べた題名には“protests” “uprising” “rebellion” などがあることに注目して下さい。

シカゴ学派の最大の影響はアメリカの日本思想史家の間に見られ、彼らは、テキストを解説するのです。つまり、文献を歴史の中でとらえようとせず、作者がそれを通じて何を意図したのかを知ろうとするのです。正直に申しますと、私は何が起きているのか本当に分からないのです

が、ある若いアメリカの思想史家が言うには、「今、アメリカの日本研究では、徳川思想史の分野において一番面白い研究がなされている」そうです。この同じ学者は、「日本の学者から学ぶことは何もない」と言います！ この分野のリーダーはシカゴ大のHarry HarootunianとTetsuo Najitaです。彼らの第一の弟子がHerbert Oomsで、現在、カリフォルニア大バークレー校にいます。この方法は、シカゴ大出身者にも思想史にも限ったことではありません。Norma Field、Kevin Doakのような文学の連中にも好まれています。この「ニュー・ヒストリー」を日本専門家に取り上げている現在、他の専門の歴史家、つまりアメリカ・ヨーロッパの歴史の専門家たちは、ニュー・ヒストリーはもう時代おくれとしているのです。つまり、クリオメトリックス・社会史・歴史心理学が騒がれた第二次世界大戦直後にそれはアメリカでスタートしましたが、今日、アメリカにおけるアメリカ史、ヨーロッパ史の専門家の間では、この「新しい方法」を基にした歴史研究の新時代が訪れるという約束は果たされず、そして「オールド・ヒストリー」が戻ってきていると一般的に考えられています。このように、アメリカ史研究者と日本研究のニュー・ヒストリーに携わる者との間には時代差があるのです。二つ目の結論は、アメリカの日本歴史家が用いるニュー・ヒストリーには「流行を追う」要素があるということです。Harootunianが1960年代後半に「歴史心理学」に深い興味を持っていたことを私は知っていますが、彼はもうこれについては語りません。そのかわり彼はLevi-Straussの「構造主義」に移り、それから「ポスト構造主義」、「ディスコース」へと移りました。そして先日アジア研究学会(Asian Studies Conference, 1989)に出席したある人から私が聞いた報告によりますと、意味はどうであれ、今は「ナラティブ」(narrative)がキーワードだそうです。私が指摘したい3番目

のポイントは、1987年1月25日付け「東京新聞」から引用します。これはボストンのシンポジウムで発表された論文の翻訳を論じたものです（同じようなシンポジウムが先に立教大学で開かれたと思います）。翻訳されたもののタイトルは『現代思想、日本のポストモダン』1987年版です。批評の一部は次のように述べています。

「しかし、本家の構造主義者に比べると、やっぱり『知的水準』は低いね、日本の思想史をトータルに理解していないので、ポスト構造主義をうまく適用できないのだ。いや、ポスト構造主義の理解自体もあやしい。……米国はもっと優秀な人間をジャパノロジストとして養成しなければ、本当に、『没落』してしまうと、他人事ながら心配になってしまった」

悲しいことながら、私はこの批評に同意します。この種の方法として極端な例を一つ挙げますが、今度は文学です。ある博士課程の学生が『源氏物語』の中のたった一つのパラグラフを取り上げ、博士論文全体を構造主義的方法でその一つのパラグラフの原典批評をただけで、学位を取りました。この種の流行の方法を若い学者に勧めるのは、ためにならないと思います。なぜなら、一度流行が去ってしまったら彼らはどうなるのでしょうか。

もう一つの傾向も悲しいものです。日本叩きです。テレビ評論家がアジア人、日本人に対する偏見は過去のものであると1980年に書いたばかりであることを思いだして頂きたいのです。だから私は「流行を追うこと」や「トレンド、傾向」には懐疑的なのです。私はここでアメリカの政治家やビジネスマンが日本の経済慣行を攻撃していることを言っているではありません。ある日本を専門とする学者やジャーナリストが、「日本を専門とするほかの学者が日本の政府、財団や企業から金をもらっ

ているから、日本について好意的なことを書いたり、都合の悪いことを書かなかったりする」と、言っていることについて話しているのです。

この傾向を理解するためにまず、1970年代半ばに話を戻します。1975年、ハーバードの博士で、当時ウィスコンシン大のJohn W. Dowerがノーマン著作集を編集し、それに長い序文を付けました。彼が突きつけた最大の起訴状というのは、Reischauer、Hall、Jansen、Henry Rosovsky、Robert Bella、つまり日本研究を代表する人々がアメリカの財団やアメリカ政府とタイアップして冷戦の中でのアメリカ政府の外交方針を宣伝した、というものです。つまりこれはアメリカの日本専門家を通してアメリカ政府を叩いているのです。言うまでもなく、Dowerはこれらの日本専門家をも猛烈に批判をしているのです。今度は、1980年代にアメリカの日本専門家が日本の財団・企業・日本政府から援助を受けて、日本の貿易経済政策の立場を「支持している」として、アメリカの日本専門家の非難を通して日本叩きに出ているのです。例えば、Ivan P. Hall（ハーバード博士）はかつて筑波大学の教授でしたが1987年7月4日付の「ウォールストリートジャーナル」にこう書いています。「欧米間の思想の交流とは違い、日米間の対話は互いの国の専門家である少数のグループの日本人とアメリカ人によって決められることが多い。……この少数の学者・ジャーナリスト・外交官が対話を日本より曲げている……昨日のアメリカのジャパノロジストは今日の『ジャパナボロジスト、つまり日本弁護士』となっている」。彼は次に以上述べたことと金とのつながりについて、ハーバードの社会学の博士号と法学の学位を持ち、アメリカ政府通商代表部の日本部長であるグレン・フクシマが国際文化会館でしたスピーチで述べた言葉を引用しています。「アメリカの日本専門家は一方的に肯定的になるという奇妙な傾向に気が付くが、これはもし

外人で日本人に対してあまり批評的であると、情報源・資金・友人がなくなってしまうからだ」と言うのです。

攻撃はアメリカの日本専門家にだけ向けられたものでないことはお判りだと思います。Ian Burumaは国際日本文化研究センターを攻撃したものを書き、これに対して梅原所長が「中央公論」1987年8月号に反論を出しました。アイバン・ホール、フクシマ、ブルマの「論理」によると、私が今日ここに出席していることと、日本近代政治史に対する私の「肯定的」解釈から、私は「Japanapologist」（日本弁護人）という非難を受けるであります。なぜ私がこういえるかと言えば、ごく最近ある立派な大学の日本専門家が、これも同じく立派なJournal of Asia Studiesに、私はライシャワーの「名代」であり「筆記者」でもあると書いたからです。これは、アメリカにおける日本専門家のごく少数派にある恥ずべき感情主義と学者としての冷静さの欠如の一つの例であります、私はやや僻んでいるかも知れません！

この発表を、第三の傾向を述べて終えることにしたいと思います。この2、3年は博士号を持った若い人々にとって、日本研究における職探しという意味では、良い年になるでしょう。その一つの理由は去って行く人々があるということです。アメリカにおける日本研究の草分けである陸軍や海軍で教育を受けた人々、第2次世界大戦直後に博士号を取った人々のほとんどが60歳を過ぎ、ライシャワー・ホール・トーマス・スミスなどは70歳を過ぎています。ほとんどは引退したか、まさに引退寸前にあります。この傾向は日本研究に限ったものではありません。これからの10年間はあらゆる分野で多くの教授たちが引退していくでしょう。ある資料によると、カリフォルニア州だけでも、総合大学と単科大学でこの10年間に2万人の新しい教授陣が必要となるとしています。その他

の理由としては、日本に対する関心の増大があります。日本は大国です。昭和天皇の葬儀に出席した各国元首の数をご覧ください。日本叩きも日本の重要性を示す一例でもあります。日本に対する関心がなければ叩くこともないでしょう。従って、以前は日本専門家のいなかった多くの機関が、日本専門家を探しています。例えば私はフロリダ・アトランティック大学など一度も聞いたことがありません。エモリー大学は南部の最重要拠点の一つであるアトランタに所在している重要な大学です。日本研究において職の需要がある傾向は続くように私は思います。そしてこれは日本研究に関心のある我々全員にとって良いことです。

(1989年6月)

#### 参考文献目録

1. Japanese Studies in the Universities and Colleges of the United States (Institute of Pacific Relations, New York, 1935), based on a 1934 study by Professor Yasaka Takagi.
2. Japanese Studies in the United States (S.S.R.C.-A.C.L.S. Joint Committee on Japanese Studies, New York, 1970), from a 1969 study by Professor John W. Hall.
3. CULCON Report on Japanese Studies at Colleges and Universities in the United States in the Mid-1970's, published in 1977, based on a 1976 survey by Elizabeth T. Massey and Joseph A. Massey.
4. Japanese Studies in the United States, the "Amagi Report" (Japan Foundation, 1977), based on a report by the survey mission of the Japanese Government to the United States, headed by Amagi Isao.
5. Japanese Studies in the United States: The 1980's (Japan Foundation, 1984), based on a 1983 survey, Joint Committee on Japanese Studies of the American Council of Learned Societies and the Social Science Research Council.
6. Japanese Studies in the United States, Part : History and Present Condition—Japanese Studies Series (Japan Foundation, 1988).



7. Japanese Studies in the United States, Part : Directory of Japan Specialists and Japanese Studies Institutions in the United States and Canada, Japanese Studies Series , Vol.: Japan Specialists (Japan Foundation, 1989).
8. Japanese Studies in the United States, Part : Directory of Japan Specialists and Japanese Studies Institutions in the United States and Canada, Japanese Studies Series , Vol.: Institutions and Indexes (Japan Foundation, 1988).
9. List of contributors of the Kodansha Encyclopedia of Japan.
10. Maeda Tamon. "New Period of Interest in Japanese studies in the United States Predicted." *Pictorial Orient*, October 1940.

#### 特別関連資料

1. Passin, Herbert. Encounter with Japan,(Kodansha International, 1982) (World War , United States Army Language Program and participants).
2. Roger Pineau is now working on a book on World War , United States Navy Language Program and participants.
3. Goodman, Grant. Amerika no Nippon Gannen,(Otsuki Shoten, 1986) (Personal account of Occupation of Japan experience by Japan specialist).

#### 聞き取り調査資料

1. Mayo, Marlene. Maryland University has been taping participants in the Occupation of Japan.
2. Akita, George. Approximately 150 scholars on tape.

#### 資料1 ; 弁護士と法律

- Alexander, George, b.1931; Yale, 1964; L.L.M. Yale.
- Ames, Walter, b.1946; Anthro./Law; Harvard, Law.
- Anawalt, Howard, b.1938; Professor of Law, 1979; Santa Clara.
- Beer, Lawrence, b.1932; constitutional law; University of Washington, 1966; Lafayette College.
- Birmingham, Hobart, b.1944; Princeton, E.A. Studies, B.A., 1967; University of Michigan Law, 1971.
- Bogarty, William, b.1947; Yale, History, B.A. and M.A. Yale, 1972.
- Brown, Robert, b.1949; J.D., 1974; comparison of Japanese and Ameri-

can legal advisers.

- Bryant, Tamie. b.1953; Harvard, Law, 1987; U.C.L.A. Law School.
- Cho Sung-yoon, b.1928; Ph.D. in international law, 1963; lawyer, foreign law specialist, Library of Congress.
- Clifford, W. "Crime Control in Japan" (1973).
- Coleman, Rexford Lee. b.1930; Stanford, Law, 1955; Tokyo University, Master of Jurisprudence, 1960.
- Heinz, David. b.1913; Berline, Law, 1935; Brooklyn Law, 1951.
- Dixon, Bonnie. b.1955; Law and performing arts, Michigan J.D., 1981.
- Digby, Matthew. b.1951; Sophia, M.A., 1975; Columbia, 1978.
- Drabkin, Daved. b.1942; Art History, Yale, Law, 1968.
- Enomoto, Lawrence. b.1934; Maui; Sophia, 1958; U.H. J.D., 1980; University of Washington, Asian Law, L.L.M., 1986.
- Fleischman, Roger Justice. b.1934; Harvard, Law, 1959 (Law and International relations).
- George, B.J.Jr. b.1925; Michigan, Law, 1951; Professor of Law, New York Law School. "Right of Silence in Japanese Law."
- Golbert, Albert. b.1932; University of Denver, L.L.B., 1956; Michigan, L.L.M. 1964.
- Goldsmith, Seth B. b.1941; Professor, University of Mass/Amherst; Western New England College, J.D., 1986.
- Gray, Whitmore. b.1932; Michigan, J.D., 1957; Adrian College, L.L.D., 1980; Professor of law, Michigan Law School.
- Green, Carl J. b.1939; Harvard, East Asian Languages, B.A., 1961; Yale Law, 1965.
- Hale, Hunter. b.1946; Columbia, Law, 1972; University of Washington, Asian Law, 1976.
- Haley, John O. b.1942; Yale, Law, 1969; University of Washington, L.L.M., 1971; University of Washington, Asian Law.
- Henderson, Danx Fenno. b.1921; Harvard, Law, 1949; Berkeley, Ph.D., 1955; University of Washington, Asian Law.
- Huston, John. b.1927; University of Washington, J.D., 1952; New York University, L.L.M., 1955.
- Hemmendinger, Noel. b.1913; Princeton, History, B.A., 1934; Harvard, Law, 1937.
- Janisch, Hudson. Chicago, L.L.M., 1965; Chicago, Master of

Comparative Law, 1963.

- Janow, Merit. b.1958; Columbia, J.D., 1988.
- Kuttman, David. b.1942; Chicago, J.D., 1974.
- Kanowitz, Leo. b.1926; Berkeley, Law, 1960; Columbia, L.L.M., 1967; Law, Literature, Anthropology, sociology.
- Kanter, Richard. Michigan, Law, 1975.
- Karjala, Dennis. b.1939; Electrical engineering, Ph.D., 1965; Berkeley, J.D., 1972.
- Knudten, Richard D. b.1932; Yokohama; Sociology, Ph.D.; Professor of Sociology/Criminal Law, Marquette University, Wisconsin.
- Lapon, Jeffrey M. b.1953; Harvard, B.A. in E.A. Studies, Waseda, 1974; Harvard, J.D., 1978.
- Klauser, Arthur. b.1923; Japanese language certificate, University of Chicago; Japanese history, M.A. University of Michigan, 1948; Yale, Law, 1958.
- Luney, Percy. Jr. b.1949; Geology; Harvard, Law, 1974.
- Matsukawa, Michael. b.1947; Kauai; B.A. Oregon, Asian history, 1969; J.D., 1974; University of Washington, Asian Law, 1982.
- Milhaupt, Curtis J. b.1962; investment; Columbia, Law, 1989.
- Murphy, Timothy J. b.1946; Washington and Lee, J.D., 1970; Harvard, L.L.M., 1976.
- Oldman, Oliver. b.1920; B.S. in Econ., Harvard, 1942; Harvard, Law, 1953; Professor of Law, Harvard.
- Ottley, Bruce. b.1947; Iowa, J.D., 1972; Columbia, L.L.M., 1978; 1972-1977, Faculty, Papua New Guinea University; judge, Papua New Guinea, Professor of Law, Depaul University. Articles on Japan.
- Ottley, Younghee Jin. b.1951; Korea; De Paul Chicago, J.D., 1982; L.L.M. Columbia, 1986; Research on commercial law in Japan.
- Peterson, Robert. b.1942; Math, B.A., 1963; Stanford, J.D., 1966; Oxford University, Law diploma, 1976.
- Parker, Richard. b.1940; Philosophy; Harvard, Law, 1971; Chicago, Ph.D., 1968.
- Porges, Amelia. b.1952; Linguistics, 1973; Harvard, Law, 1980; Professor of Law, Georgetown.
- Pritchett, Russell. b.1951; Northwestern, J.D., 1977; University of London, L.L.M., 1979.

- Radin, Rubin. b.1941; Japanese History, A.B.D. Berkeley; J.D., 1979; Head, Legal Department Morgan Stanley Japan.
- Ramseyer, Mark. b.1954; M.A. Japanese studies, Michigan, 1978; Harvard, Law, 1982; Acting professor of Law, U.C.L.A.
- Reisch, Pauline. b.1946; University of New York, Comparative lit., 1972; New York, Law, 1985; government service.
- Roebuck, John. b.1950; Michigan, J.D., 1975.
- Rosett, Arthur. b.1934; Professor of Law, U.C.L.A., published articles with Hiroshi Wagatsuma.
- Sayre, Charles F. b.1949; Art and art history, Yale, Ph.D., 1978; U.C.L.A., J.D., 1986; Attorney, Coca-Cola Bottling Company.
- Schneider, Herbert J. b.1936; Econ.; Boston University, J.D., 1964.
- Schoenbaum, Thomas. b.1939; philosophy; J.D., 1965; Professor of Law, University of Georgia.
- Shapiro, Isaac. b.1931; Tokyo; Columbia, Law, 1956.
- Sherwood, Richard. b.1928; Harvard, Law, 1952.
- Shklov, Mark. b.1950; Sophia University, Japanese studies, 1971; Puget Sound, Law, 1976.
- Simon, James H. b.1946; Harvard, E.A. Studies, M.A., 1968; Michigan, Law, 1979.
- Sneider, David. b.1957; Yale, E.A. Studies, B.A., 1979; Tokyo University, 1980; Harvard, Law, 1984; (I think his father was U.S. ambassador to Korea), Salomon Bros, Tokyo.
- Tanaka, Jennie. B.A. International Christian University, 1966; Washington College of Law, 1984.
- Thoonton, Robert. b.1910; Oregon, Law, 1935; George Washington University, Law, J.D., 1937; Adj. Professor, Western Oregon State College.
- Tung, Ko-Yung. b.1947; Peking; New York University, Adj. Associate Professor of Law; physics, Harvard, Law, 1973.
- Upham, Frank. b.1945; Harvard, 1974; Harvard, Law, 1974.
- Von Mehren, Arthur T. b.1922; Harvard, Law, 1945; Harvard, Govt., Ph.D., 1946; Professor of Law, Harvard, Law in Japan (1963).
- Wallace, Richard. b.1949; B.A. Princeton, E.A. Studies, 1972; Columbia, J.A., 1977.

- Ward, Sidney. b.1929; University of Florida, J.D., 1957.
- Waxman, Michael. b.1947; Boston College, Law, 1972; Professor of Law, Marquette.
- Taber, Clark. b.1954; U.C.L.A., B.A. Japanese Lang./Lit., 1978; M.A. Oriental Languages, 1982; Harvard, Law, 1985.
- Whitney, Daniel. Ph.D. Michigan State, Western State University College of Law, 1976; Professor of Anthropology, Sand Diet State.
- Young, Michael. b.1949; Harvard, Law, 1976; Professor of Law, Columbia.

資料2 ; 女性の日本研究者（日本語・日本文学の専門家は除いてある）

- Anchoroguy, Marie. b.1955; Berkeley, 1986, Harvard School of Business.
- Barnett, Suzanne. b.1940; Harvard, 1973, History.
- Berberich, Junko. b.1948; University of Hawaii, Theatre, independent scholar.
- Bernstein, Gail. b.1939; Harvard, 1968; History (specialization; research interest—among a list cited, there is a category: gender, sex roles, women. Hereafter G.S.R.W.).
- Berry, Mary E. b.1947; Berkeley, 1975.
- Boocock, Sarane. b.1935; Johns Hopkins, 1966, Social relations.
- Brinton, Mary, b.1952; University of Washington, 1986 (University of Chicago-Sociology).
- Brock, Karen. b.1949; Princeton, art history, 1984; G.S.R.W.
- Campbell, Ruth. Social work (geriatric); G.S.R.W.
- Church, Deborah. b.1938; University of Hawaii, 1978; History (Holy Names College), CA.
- Colbert, Evelyn. b.1918; Columbia, 1947 (Left-wing in Japanese politics, 1952).
- Dalby, Liza C. b.1950; Stanford, 1978; Geisha (1983); G.S.R.W.
- Davis, Sandra. b.1937; University of Penna, 1968,(Ono Azusa); Insurance.
- Doe, Paula. b.1949; Wisconsin, 1978; University of California, M.B. A., 1982 (Lit./International business).
- Field, Norma. b.1947; Princeton, 1983 (into structuralism, etc.).
- Fujita, Kuniko. Sociology, Michigan State, 1982; G.S.R.W.

- Graham, Patricia. b.1952; Art history, 1982; Kansas.
- Hadley, Eleanor. b.1916; Radcliffe, 1949 (Dissolution of the zaibatsu) (Anti-trust in Japan, 1970).
- Harrington, Ann. b.1939; Claremont, 1977; Position and education of women.
- Hata, Nadine. b.1941; U.S.C., 1983.
- Hein, Laura. b.1955; Wisconsin, 1986.
- Hill, Annel. b.1953; Duke, 1980.
- Hirai, Atsuko. Harvard, G.S.R.W.(Tokyo University, 1961).
- Hastings, Sally. b.1941; Chicago, 1980; "Women".
- Ito, Barbara. b.1951; Iowa, 1983; G.S.R.W.
- Imamura, Anne. b.1946; Columbia, 1980; Chair, Asian Studies, Foreign Service Institute; G.S.R.W.
- Kinney, Ann. b.1931; Columbia, 1962; Vice-president, Capital City Associates.
- Kleinberg, Jill. b.1945; University of Mich., 1979.
- Hoston, Germain. b.1954; Harvard, 1981.
- Hopper, Helen. b.1938; University of Washington at St. Louis, 1976; G.S.R.W.
- Kondo, Dorine. b.1953; Harvard, 1982; G.S.R.W.
- Kuwayama, Patricia Hagan. b.1940; Econ., 1970; Vice-president, Chemical Bank.
- Lanham, Betty. b.1922; Syracuse, 1962.
- Lebra, Joyce. b.1925; G.S.R.W. women's history.
- Lebra, Takie. Pittsburgh, G.S.R.W.
- Lewis, Catherine. b.1950; Stanford, 1979.
- Momola, Claides. b.1941; Appalachia State U.N. Carolina.
- Marsh Susan. Chicago, Ph.D., 1955.
- McKean, Margaret. b.1946; Berkeley, 1974.
- Minichiello, Sharon. b.1939; Hawaii, 1975.
- Molony, Barbara. b.1950; Harvard, 1982; G.S.R.W.
- Molony, Kathleen. b.1949; Michigan, 1980; G.S.R.W.(Jse women's movement).
- Nakai, Kate Wildman. b.1942; Harvard, 1972.
- Napier, Nancy. b.1952; Ohio State, 1981.
- Nomura, Gail. U.H., 1979.

- Ohlson, Virginia. b.1914; Professor Emeritus, University of Chicago, Nursing and ed.
- Ohnuki, Tierney Emiko. b.1934; Wisconsin, 1968; G.S.R.W.
- Paulson, Joy. b.1929; Colorado, 1983; G.S.R.W.
- Pharr, Susan. b.1944; Columbia, 1975; G.S.R.W.
- Piggot, Joan. b.1947; Stanford, 1987.
- Mayo, Marlene. Columbia, 1961.
- Pijanowski, Noriko. b.1942.
- Robertston, Jennifer. b.1953; Cornell, 1983; G.S.R.W.
- Robins-Mowry, Dorothy. independent scholar, G.S.R.W.
- Rosenberger, Nancy. b.1949; Michigan, 1984; G.S.R.W.
- Rosenbluth, Frances M. b.1958; Columbia, 1988.
- Gluck, Carol
- Rugola, Patricia. b.1945; Ohio State, 1986 (ind. scholar).
- Bock, Audie. (films).
- Schooler, Carmi. b.1933; New York University, 1959.
- Sewell, Dorita. b.1944; Anthro, Chicago, Ph.D.; government service, independent scholar.
- Silverberg, Miriam. Chicago, 1988(?).
- Skord, Virginia. b.1952; Cornell, 1987.
- Steinhoff, Patricia. b.1941; Harvard, 1969; G.S.R.W.
- Stephan, Barbara. b.1943; M.A. U.H., 1969; publishing independent scholar.
- Strauss, Monica. Harvard, 1978.
- Swann, Barbara B. b.1939; Brandeis, 1978; G.S.R.W.
- Takeuchi, Melinda, b.1944; Assist Professor, Stanford.
- Tamanoi, Mariko. b.1951; Northwester, 1982; G.S.R.W.
- Terasaki, Etsuko. Columbia, Ph.D.; independent scholar, G.S.R.W.
- Teters, Barbara. b.1926; University of Washington, 1955.
- Tonomura, Hitomi. b.1948; Stanford, 1986.
- Traweek, Sharon. b.1942; University of Santa Cruz, 1982; G.S.R.W.
- Tsukui, Nobuko, b.1938; Ph.D., 1967.
- Uete, Helen Rinehart. b.1935; Japanese Journalism, Michigan B.A., 1977; Japanese studies, University of Michigan, M.A., 1978; Co-Owner, Japan-American Management Services.
- Uno, Kathleen. Berkeley, 1987; G.S.R.W.



- Villaflor, Georgia C. b.1952; Harvard, 1988.
- Walthall, Anne. b.1946; Chicago, 1979; G.S.R.W.
- Weiner, Susan. Harvard, Ph.D.; Trustee, Batterymarch Financial Management.
- Wey, Nancy. Chicago, Ph.D., 1974.
- White, Merry I. b.1941; G.S.R.W.
- Will, Jarguerite. b.1942; Professor, Foothill College, Business management.
- Wollons, Roberta. b.1947; Chicago, 1983; G.S.R.W.
- Woodson, Yoko. Berkeley, 1983.
- Yoshikawa, Diana. Wisconsin, 1974; President, Interface Japan.
- Yuasa, Michiko. Ph.D., 1983; University of California at Santa Barbara.

資料3；日本人の日本専門家（日本語・日本文学・言語学・図書館学は除いてある）

- Abe, Masao. b.1915; Osaka; Chicago, Professor of Religion.
- Akaha, Tsuneo. b.1949; Nagano-ken; Professor of Pol./Sci., Bowling Green, Ohio.
- Ando, Albert. b.1929; Tokyo; Professor of Econ., University of Pennsylvania.
- Angevine, Michael J. Kimura. b.1953; Assist. Professor, Sociology of Religion, San Francisco Theological Seminary.
- Azumi, Koya. b.1930; Tokyo; Professor of Sociology, Rutgers.
- Fukai, Shigeko. b.1939; Tokyo; Program Director, Auburn, Alabama.
- Fukui, Haruhiko. b.1935; Tokyo; Professor of Pol./Sci., University of California, Santa Barbara.
- Furuhashi, Yusaku. b.1931; Shizuoka; Professor and Dean, College of Business Administration, Notre Dame, Indiana.
- Haitani, Kanji. b.1934; Osaka; Professor of Econ., Memphis State,
- Hamada, Koichi. b.1936; Tokyo; Professor of Econ., Yale.
- Hakuta, Kenji Kamakura. 1952; Educational psychology, University of California, Santa Cruz.
- Hamada, Tomoko. b.1949; Yokosuka; Assist. Professor of Anthropology, William and Mary (Virginia).
- Hashimoto, Masanori. b.1941; Tokyo; Professor of Econ., Ohio State.

- Horiba Yutaka. b.1940; Nagoya; Professor/Chairman, Econ., Tulane, New Orleans Louisiana.
- Iga, Minoru. b.1916; Kagawa-ken; Professor Emeritus, Anthro., University of California at Northridge.
- Iriye, Akira. b.1934; Tokyo; Professor of History, Chicago, Harvard (Sept. 1989).
- Ishimine, Tomotaka. Tokyo, Professor of Econ., California State at Long Beach.
- Ito, Takatoshi. b.1950; Sapporo; Economist, National Bureau of Economic Research, Washington.
- Kato, Kazumitsu. b.1930; Nagoya; Professor of Religion and Director, Japan Studies, California State University.
- Kato, Takao. b.1954, Aichi, Asst. Professor of Econ., Colgate, New York.
- Kawahito, Kiyoshi. b.1939; Choshun, Manchuria; Professor of Econ., Middle Tennessee.
- Kawashima, Yasuhide. b.1931; Nagasaki; Professor of History, University of Texas at Elpas.
- Kikuoka, Tadashi. b.1931; Tokyo; Professor of History, Seton Hall, New Jersey, Director, Japanese Studies Association.
- Kamachi, Noriko. Harvard, Ph.D., 1972; Professor of History, University of Michigan at Dearbon.
- Kitagawa, Joseph. b.1915; Osaka; Professor Emeritus, History of Religions, University of Chicago.
- Kaneda, Hiromitsu. b.1934; Osaka; Professor of Econ, University of California at Davis.
- Koder, James. b.1945; Professor of Religion, Wellesley, M.A.
- Kogiku, Kiichiro. b.1927; Okayama; Professor of Econ. University of California-Riverside.
- Kuriyama, Kurt. b.1935; Tokyo; Berkeley, Ph.D. History, 1973; International Relations, Texas Tech. University.
- Kuroda, Yasumasa. b.1931; Tokyo; Professor of Pol./Sci., University of Hawaii.
- Matsui, Noriatsu. b.1945; Fushun, Manchuria; Econ., Earlham College, Indiana.
- Miyoshi, Masao. b.1928; Tokyo; Professor of Comparative Lit.,

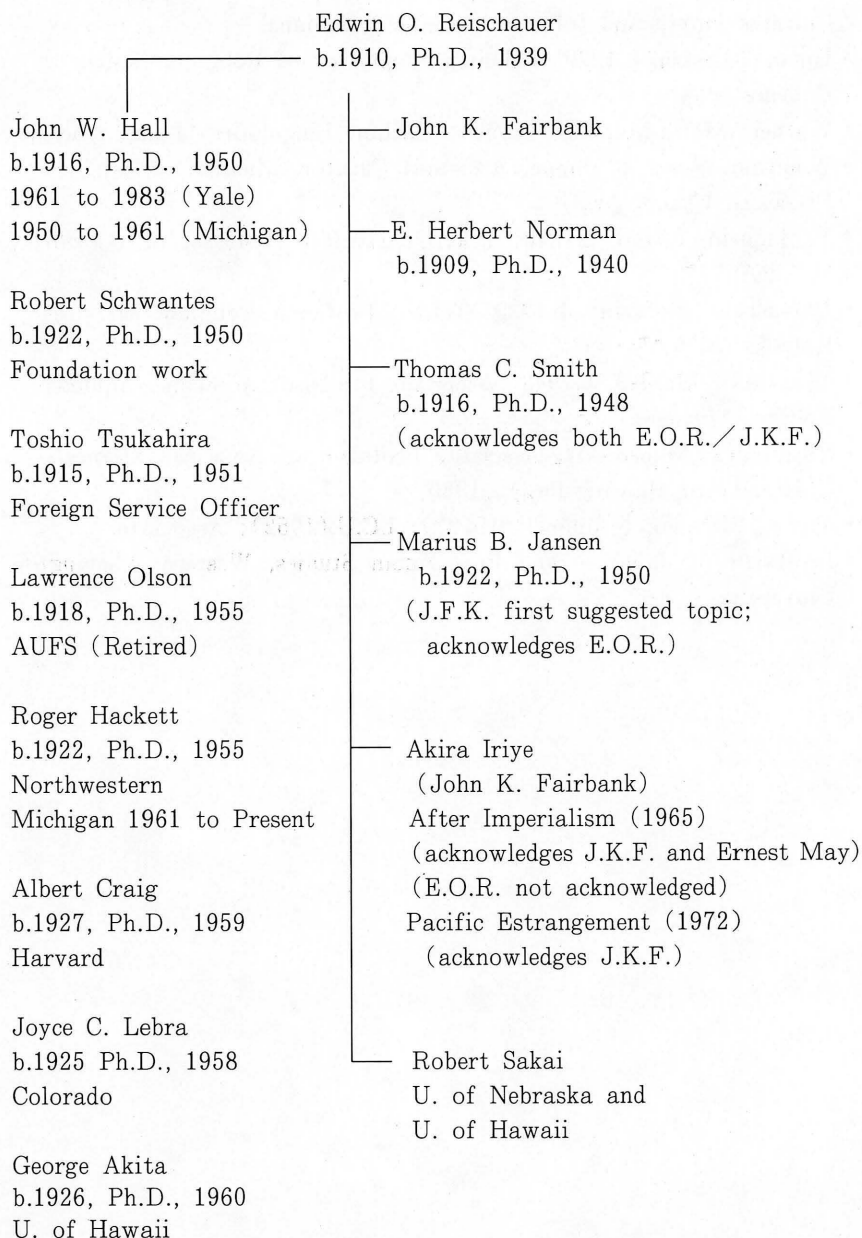
University of California, San Diego.

- Obayashi, Hiroshi. b.1934; Osaka; Professor of Religion, Rutgers, N.J.
- Owada, Yasuyuki. b.1934; Kinshu, Manchuria; Chairman, Department of Sociology/Anthro., Redlands College, C.A.
- Ohazama, Tasuku. b.1943; Yonezawa; Florida State, Architecture.
- Ozaki, Robert. b. Tokyo; Professor of Econ., California State at Hayward.
- Ozawa Terutomo. b.1935; Yokohama; Econ., Colorado School of Mines.
- Pijanowski, Hiroko Sato. b.1942; Tokyo; Professor, University of Michigan, School of Art.
- Sakakibara, Yoshitaka. b.1952; Aichi; Asst. Professor of International Business, University of South Carolina.
- Sakihara, Mitsugu. Michael, b.1926; Okinawa (P.O.W.); History, Summer Session, University of Hawaii.
- Sato, Kazuo. b.1927; Sapporo; Professor of Econ., Rutgers, N.J.
- Sato, Ryuzo. b.1931; Akita-ken; Professor of Business/Econ., New York University.
- Shimahara, Nobuo. b.1936; Okayama; Professor, Anthropology of Education, Rutgers; Associate Dean for Academic Affairs.
- Shimizu, Yoshiaki. b.1936; Tokyo; Professor of Art and Archaeology, Princeton.
- Taira, Koji. b.1926; Okinawa; Professor of Sociology, University of Illinois.
- Takata, Moriyuki. b.1932; Professor of Pol./Sci., El Camino College, CA.
- Tatara, Toshio. b.1937; Shizuoka; Foundation work, (social welfare).
- Toda, Yasushi. b.1931 (?); Kyoto; Econ., Associate Professor, University of Florida.
- Tsubaki, Andrew. b.1931; Tokyo; Chairman and Professor of East Asian Languages and Cultures (Performing arts).
- Tsukamoto, Jack. b.1931; Kagawa-ken; Associate Professor of Library Service, Ball State, Indiana.
- Tsukui, Nobuko. b.1938; Professor of English, Geroge Mason, U. Va. (Comp. Lit.).
- Tsurutani, Taketsugu. b.1935; Iki, Nagasaki; Chairman, Pol./Sci.,

Washington State University.

- Uehara, Toyooki. b.1924; Okayama; Professor, E.A. Languages and Cultures (myth and folklore specialist), Indiana.
- Unno, Taitetsu. b.1929; Fukuoka; Professor of Religion, Smith College, M.A.
- Warner, Maria-Mutsuko. b.1934; Harbin; Linguistics/Lang. teacher.
- Woodson, Yoko. b. Japan, Assistant Curator, Museum of San Francisco (Asian Art).
- Yamaguchi, Kazuo. b.1946; Tokyo; Associate Professor of Sociology, U.C.L.A.
- Yamashita, Tadanori. b.1929; Tokyo; Professor Religion, Mt. Holyoke, M.A.
- Yamazaki, Masato. b.1948; Assistant Professor of Econ., Aquinas College, Michigan.
- Yoshikawa, Muneo Jay. Associate Professor of American Studies, University of Hawaii. Ph.D., 1980.
- Yuasa, Michiko. b.Aomori (1952?); I.C.U.(1952); Associate Professor of Japanese and East Asian Studies, Western Washington University.

資料4；ハーバード日本史研究の「系図」



Mikiso Hane  
b.1922, Ph.D., 1957  
Knox College  
Ph.D. too early to be Hall Student

E.O. Reishauer  
|  
John W. Hall

Yale line

Michigan line

William Hauser  
b.1939, Ph.D., 1969  
Rochester

Gordon Leonard  
b.1928, Ph.D., 1961  
Purdue

Susan Hanley  
Ph.D.  
Washington U.

Grant Goodman  
b.1924, Ph.D., 1955  
U. of Kansas

Wayne McWilliams  
b.1936, Ph.D., 1973  
Towson State

Prescott Wintersteen  
Ph.D. Yale  
Business

Robert Spaulding  
b.1923, Ph.D., 1965  
Oklahoma State

Edward Drea  
b.1944, Ph.D., 1978  
Army history

Harold Bolitho  
b.1939 Ph.D., 1969  
Harvard

Ralph Falconeri  
b.1928, Ph.D., 1967  
Oregon

Richard Staubitz  
b.1942, Ph.D., 1973  
Private business

Bernard Silberman  
b.1930, Ph.D., 1956  
Chicago

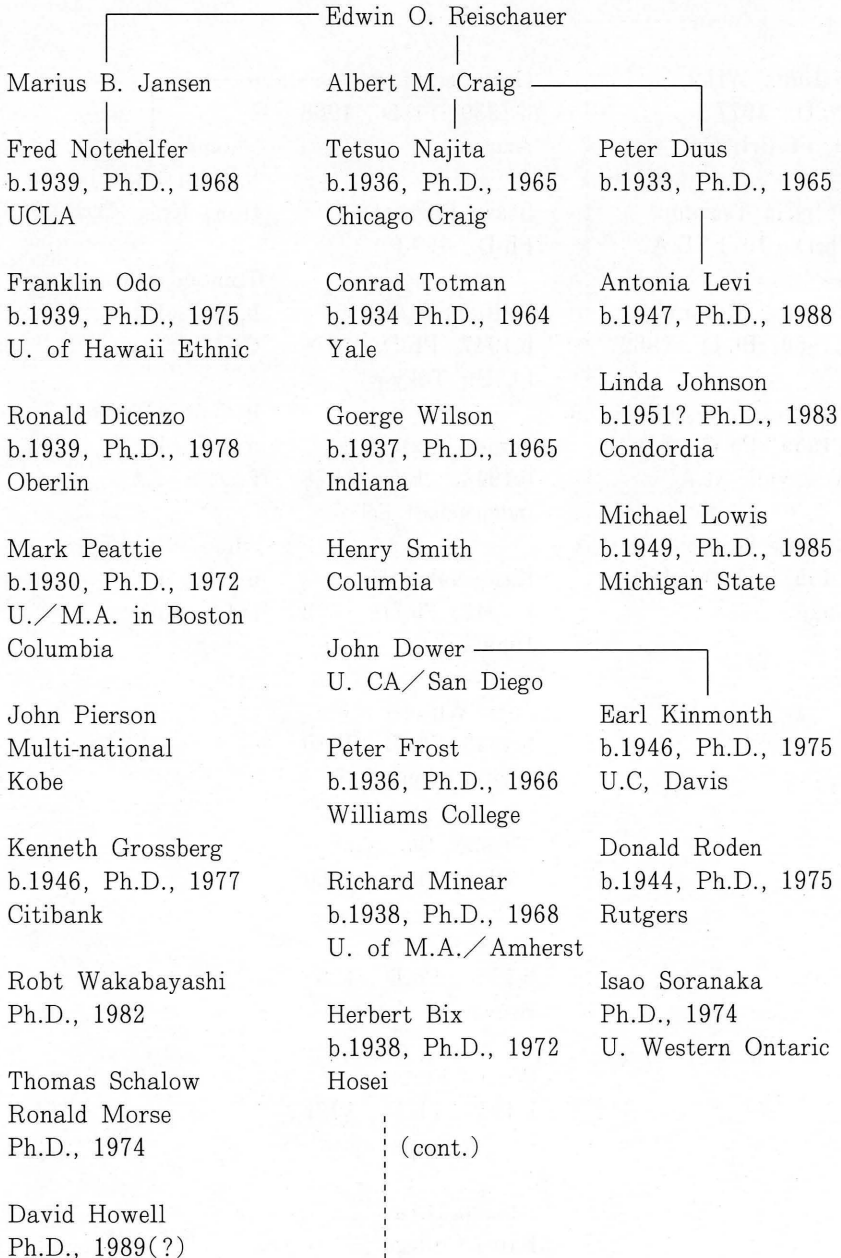
James McClain  
b.1944, Ph.D., 1979  
Brown

(cont.)

(Michigan line)

	Harry Harootunian b.1929, Ph.D., 1957 Chicago	Herman Ooms b.1937, Ph.D., 1973 U.C. Los Angels
Thomas Swift b.1934, Ph.D., 1970 Cal. State/Sacram	Irwin Scheiner b.1932, Ph.D., 1966 U.C. Berkeley	Victor Koschman Cornell
Stephan Vlastos b.1942, Ph.D., 1977 U. of Iowa	Edwin Neville b.1926, Ph.D., 1959 Canisius College	Thomas Huber
Andrew Barshay b.1953, Ph.D., 1986 Wisconsin	James Crowley Yale	Anne Walthall b.1946, Ph.D., 1979 U. of Utah
	Jeffrey Mass b.1940, Ph.D., 1971 Stanford	Sally Hastings b.1945, Ph.D., 1980
Joan Piggot b.1947, Ph.D., 1987 Cornell	Suzanne Gay b.1951, Ph.D., 1982 Oberlin	Robert Kramer Ph.D., 1985 U. of B.C.
Sheldon Garon b.1951, Ph.D., 1981 Princeton	Gordon Berger b.1942, Ph.D., 1972 U. of S. Calif.	Stefan Tanaka Ph.D., 1986 Staff, S.S.R.C.
Andrew Goble Australian	Hitomi Tonomura b.1948, Ph.D., 1986 U. Michigan	Kevin Doak Ph.D., 1988(?)
Sharon Nolte Deceased	Miles Fletcher b.1946, Ph.D., 1975 Carolina ChapHill	Steven Platzter Ph.D., 1989(?)
Ms. Harrington Very good left Japan Studies		Miriam Silverberg U.C. Los Angeles(?)





William Wray  
Ph.D., 1977  
U. of Bri. Col.

Patricia Tsurumi  
Ph.D., 1971, B.A.

Barbara Molony  
b.1950, Ph.D., 1982

William Johnston  
b.1955, Ph.D., 1987  
Wesleyan, M.A.

Andrew Gordon  
b.1952, Ph.D., 1981  
Duke

Gail Bernstein  
b.1939, Ph.D., 1968  
Arizona

Susan Barnett  
Ph.D., 1973

William Steele  
b.1947, Ph.D., 1976  
I.C.U., Tokyo

James Baxter  
b.1944, Ph.D., 1978  
Independent Scholar

Kate Nakai  
b.1942, Ph.D., 1972  
1959 Sophia (Jochi)

John Wheeler  
b.1943, Ph.D., 1970  
Writer (Sumo)

Michael Barnhart  
b.1951, Ph.D., 1980

Steven Ericson  
b.1953, Ph.D., 1985  
Brown

Wayne Farris  
b.1951, Ph.D., 1981  
U. Tennessee

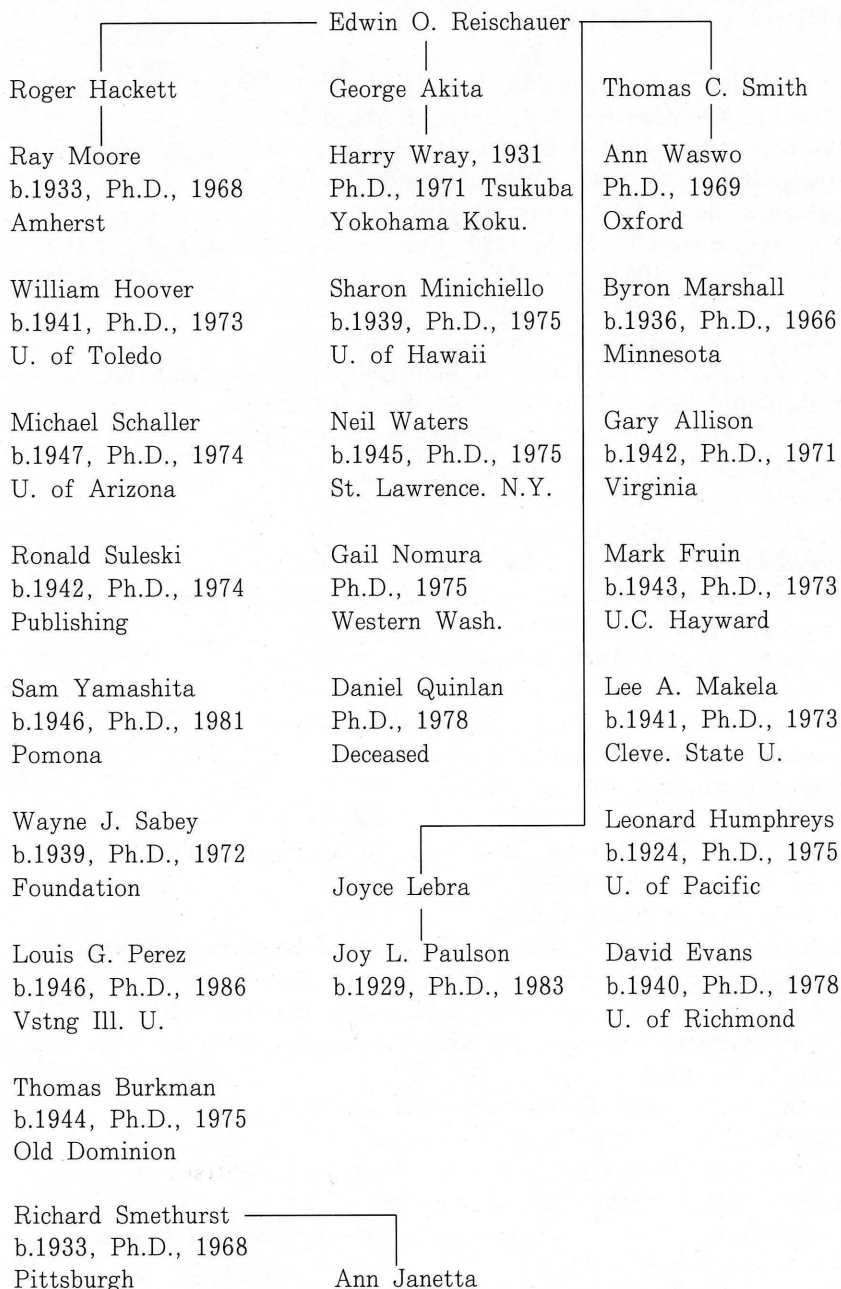
Atsuko Hirai  
Bates College

Thomas Stanley  
b.1946, Ph.D., 1978  
Hong Kong U.

Tomone Matsumoto  
b.1942, Ph.D., 1972  
Griffith Aust.

Benjamin Wren  
b.1931, Ph.D., 1973  
Loyola. LA.

Allen Wittenborn  
b.1939, Ph.D., 1979  
Ind. scholar



資料5 ; アメリカの日本政治研究者

- Morley, James W. Columbia, 1954,
- McNelly, Theodore H. 1952, Univ. of Maryland
- Whiting, Allen. 1952 Arizona
- Angel, Robert C. 1985, Univ. of South Carolina
- Campbell, John. 1973, Univ. of Michigan
- Richards, Robert C. Mich. 1980, Univ. of Texas, Austin
- Chang, Parris. 1969, Penn. State Univ.
- Curtis Gerald. 1969, Columbia
- Donnelly, Michael. 1978, Univ. of Toronto
- Curren, Timothy. 1982, General Manager, Panasonic Industrial Co.
- Falkenheim, Peggy. 1975, Univ. of Western Ontario
- Long, T. Dixon. 1968, Case Western Reserve, Ohio
- Lu, David (?). 1960, Bucknell, PA.
- Pempel, T. J. 1972, Cornell
- Pharr, Susan. 1975, Harvard
- Rosenbluth, Frances M. 1988, Univ. of Virginia
- Thayer, Nathaniel B. 1967, School of Advanced International Studies, Johns Hopkins
- Thurston, Donald. 1970, Union College, New York
- Titus, David. 1970, Wesleyan
- Weinstein, Martin E. Univ. of Illinois, Urbana
- Yasumoto, Dennis T. 1981, Smith College
- Yoshitsu, Michael. Private sector
- Blaker, Michael.
- Ward, Robert E. Berkeley, 1948 Univ. of Michigan, 1958-1973, Stanford Univ., 1973-1987
- Steiner, Kurt. 1955, Berkeley
- Aronson, Jonathan. Stanford, 1977, Univ. of Southern California
- Flanagan, Scott. Stanford(?), 1972, Florida State Univ.
- Friedman, Neil. Stanford, 1977, Information manager, Mitsu (U.S.A.)
- Fukui, Haruhiko. Attended Michigan, 1963, University of California (Santa Barbara)
- Groth, David. 1987, Postdoctoral, Harvard Univ.
- Gaenslen, Fritz. 1984, Univ. of Vermont
- Krauss, Ellis. 1973 (Stan), Western Washington/Pittsburgh
- Kubota, Akira. 1968, Univ. of Windsor
- Lewis, Jack G. 1975, (Administration) Grad. School of Business Administration, U.S.C.
- Okimoto, Daniel (?).

- Steslicke, William E. Michigan, 1965, Univ. of Southern Florida
- White, James. Michigan, 1969, Univ. of N. Carolina
- Scalapino, Robert A. Harvard, 1948, Univ. of California, Berkeley from 1949
- Albritton, Robert. 1972, York Univ., New York
- Baerwald, Hans. 1956, Univ. of California, Los Angeles
- Farnsworth, Lee. 1960 (M.A.), Brigham Young Univ.
- Langdon, Frank. 1953, Univ. of British Columbia (ret.)
- Miller, Frank O. 1961, College of Wooster, Ohio (ret.)
- Mckean, Margaret A. 1974, Duke
- Notar, Ernest. 1979, Assistant Director, E.A. Institute, Univ. of California, Berkeley
- Richardson, Bradley. 1966, Ohio State
- Hellman, Donald. 1964, Univ. of Washington  
(Korea War generation, army GI Bill)
- Adams, Jerold L. 1972, Central Missouri State
- Hrebenar, Ronald. 1973, Univ. of Utah
- Lejniaks, J.A. 1972, Univ. of Alberta
- Johnson, Chalmers. (Korea War generation, navy GI Bill) until 1975, was considered China specialist. Until 1972, he was head of the China Center at Univ. of California, Berkeley. Students of 1960 considered him too conservative. He gave up post to Frederic Wakeman. He and Ezra Vogel shifted to Japan about the same time. Scalapino was considered the Japan specialist until Chal shifted over to Japan.  
When Chal Johson left U.C. Berkeley for San Diego at La. Jolla, he had 19 Ph.D. candidates (all on Japan). His replacement is Eric(?) Noble from Harvard!
- Bedeski, Robert. 1969, Carleton Univ., Canada
- Kuriyama Kurt Y. 1973, College of Education, Texas Technical Univ.
- Paltiel, Jeremy. 1984, Univ. of Alberta
- White, Nathan. 1971, Research analyst, U.S. government
- Carlile, Lonny. 1988, Univ. of British Columbia
- Arase, David. 1989, Pomona College
- Anchordoguy, Marie. 1986

(October 1989)